

2～5歳の未就学児をお持ちのご家族の皆さまへ

お子さまの 「先天性無歯症」を 見逃さないために



先天性無歯症とは？

生まれつき歯が1本でも欠損している疾患を「先天性無歯症」と言います。

先天性無歯症は、欠損している歯の数や歯の種類、歯が生える場所やその原因の遺伝子の違いなどによって複数の様々な病気から起こると考えられています。その中でも、6本以上の歯が欠損している場合は、遺伝が大きく関係していると考えられ、その確率は全人口の0.1%とされています。

まずは検査を！

「先天性無歯症」という疾患をご存知なかったり、心配されているものの「どうやって判断するの？」「単に永久歯が生えてくるのが遅れているだけかも…」とお考えになっているご家族が予想以上に多くおられます。

私たちの研究開発グループでは、永久歯が生える前の満2歳頃より、「永久歯の先天欠如の有無を判断できる検査」が可能です。

以下にあてはまる方は、ぜひお気軽にご相談ください

2～5歳の未就学児がいらっしゃるご家庭で、
ご両親や身近な親戚に永久歯の先天欠如がある場合



先天性無歯症治療薬の治験計画
について詳しくはこちらから

<https://toothreg.jp/>



ご相談・お問い合わせ先

<https://toothreg.jp/contact/>



2030年に患者さんへ治療薬をお届けすることを目指しています。

現在、歯生え薬（歯の再生治療薬）の治験実施に向けて、医学研究所きたの病院を中心に全国の医療施設とトレジェムバイオファーマ（株）が協力して、「先天性無歯症」の患者さんの登録を進めています。



公益財団法人田附興風会
医学研究所北野病院